

平成25年度 学校自己評価表

鳥取県立米子高等学校

中長期目標 (学校ビジョン)	生徒の個性・能力の伸長をはかりながら、確かな学力と豊かな人間性の涵養に努め、地域に信頼され地域に貢献する人材を育成する。	今年度の重点目標	1 確かな学力の育成 2 豊かな人間性の育成 3 自己実現のための進路指導の充実 4 地域との連携による学校づくり
-------------------	--	----------	--

評価項目	現状	具体項目	具体目標	具体方策	中間評価	評価に対するコメント	最終評価
1 確かな学力の育成	昨年まで掲げていた「基礎的な学力の向上」は、学校改革の取組によって、この2年で国公立の四大や短大への進学実績が現れたことで、次なるステージへ向けた取組の転換が求められている。中でも自ら考え発表する力を育成することが重要な課題である。	学力の定着	授業時間の確保	授業カット・短縮授業の削減	B	想定外のやむを得ない短縮は1日だけで、概ね達成できている。	
			授業改善	『学び』創造委員会での検討 授業公開、授業評価の実践	B B	検討会議で方向性を打ち出すことができた。 授業公開は7月に全職員が実施した。12月に評価を予定。	
			系列の充実	学習委員会作業部会での検討	B	検討作業を完了し、各系列ごとの概要、目指す生徒像、具体的取組を明示することができた。	
				保育施設実習・介護施設実習の実施	B	予定どおり実施中。真面目に取組み、好評を得ている。	
				野外(体育)実習の実施	B	計画に沿って安全面に留意し、予定どおり推進している。	
				英語での多読指導の導入	B	計画どおり進行中。英語を読むことの動機付けになった。	
			発展的学力への支援	講習の実施と内容の充実	B	予定どおり実施中。学力の定着と進路実現に結びつけたい。	
			資格取得の推進	校内での各種検定試験の実施	B	予定どおり実施中。例年どおりの実績に加えて、保育検定では上級での合格者が出ている。	
		思考力、判断力、表現力の向上	テーマ学習の充実	有識者講演会、社会人講話の実施	B	予定どおり実施、学習を深めるための動機付けになった。	
			ブレテーマ学習の導入	学習成果発表会の開催	B	実施に向けて準備を進めている。(1月予定)	
			探求的学習の導入	『学び』創造委員会からの提示と実践	B	推進教員による公開授業も実施し、啓発に取り組み中。	
			小論文指導の向上	外部講師による研修会と校内研修会の実施	B	計画は実施できた。その成果を指導に役立て、結果に結びつけたい。	
			表現力の育成	デッサン講習会の開催	B	計画どおり実施、本校37名他校16名が参加し、進路の説明会もできた。	
				国語「自己表現」での社会人講師の導入	B	実施に向けて準備を進めている。	
		困り感のある生徒の指導	生徒情報の共有	教育相談部主催の情報交換会の開催	B	随時情報交換を進めている。	
			特別支援体制の実動	特別支援委員会の開催と適切な対応	B	生徒個々に応じて特支委員会を開催し、適切な対応を心掛け実践している。年々支援を必要とする生徒が増えつつある。	
2 豊かな人間性の育成	ここ数年重点的に取り組んできた「基本的な生活習慣の確立」は特に遅刻に対する指導に力を入れた結果、着実に減少傾向にあり、今後もさらに継続する必要がある。また、人間性を高めるためのさまざまな活動への参加は今後益々重要になってきている。	規律指導	遅刻者数の削減 (前年度比50%減)	朝の校門指導の実践 生徒会と連携した遅刻防止週間の取り組み	B C	ほぼ毎日実践している。 7月末までの遅刻回数は前年度比約7%減であったが、9月末ではほぼ同数となった。夏休み明けからの取組が課題である。	
			正しい服装の着こなし	着こなしセミナーの実施 服装指導と生活指導委員会の機能的連動	B C	予定どおり実施した。正しい着こなしの意識付けになった。 指導部が担任ともっと連携とる必要がある。	
			あいさつ習慣の定着	マナーアップキャンペーン、あいさつ運動の展開	B	「ふれあい運動」「マナーアップ運動」期間など地域の方とタイアップした活動ができた。	
		環境教育	環境に対する関心の育成	TEAS活動、環境講演会の実施	B	各活動は着実に遂行されている。	
		生徒会活動と部活動の活性化	生徒会主催行事満足度80%以上	執行部会を多く持たせ、自主的な活動の促進	B	毎週部会を開催し、行事などへの主体的な取り組みができています。学校祭についてのアンケートは88%が満足と回答した。	
				特別支援学校との交流活動	B	交流事業を実施、参加生徒にとっては実りのある交流となっている。	
			部活動加入率80%以上	分掌・担任の連携によるキャリア教育からの加入促進	B	部活動加入率は86.5%であった。部活の大切さをさらにアピールする必要がある。	
		読書のすすめ	読書の機会の確保	朝読書の継続とサポート体制の充実	B	概ね良好に実施中。忘れた生徒自身に本を用意させる指導が課題。	
		国際理解教育	海外姉妹校交流の促進	釜山デザイン高校からの研修受入れ	B	未実施(相手校の都合で今年度は中止の予定)	
				アメリカSTA高校への研修派遣		意欲的な生徒を派遣できており、帰国後の学習意欲にも効果的である。	

評価基準 A: 目的・目標を達成した B: ほぼ計画(予定)どおり推進している C: 取り組みとしてはやや遅れている(取組は進めたが、成果が出ていない) D: 一層の(新たな)取組が必要

平成25年度 学校自己評価表

鳥取県立米子高等学校

中長期目標 (学校ビジョン)	生徒の個性・能力の伸長をはかりながら、確かな学力と豊かな人間性の涵養に努め、地域に信頼され地域に貢献する人材を育成する。	今年度の重点目標	1 確かな学力の育成 2 豊かな人間性の育成 3 自己実現のための進路指導の充実 4 地域との連携による学校づくり
-------------------	--	----------	--

評価項目	現状	具体項目	具体目標	具体方策	中間評価	評価に対するコメント	最終評価
3 自己実現のための進路指導の充実	「進路実現」において安易なものから、身の丈の少し上にチャレンジする傾向が現れてきたことで、生徒の可能性をきちんと把握し伸ばす指導力が求められている。	キャリア教育の推進	産社の取組みの充実	学びEXPO(社会人講話、学校・事業所見学)の展開	B	予定どおり実施できた。高校で学ぶ心構えができた。	
			進路探究心の育成	進路講演会の実施	A	予定どおり実施、生徒の進路意識の向上に結びついた。	
		進路指導の充実	適切な科目選択指導	充分な面接時間の確保	B	面接週間を有効に活用している。	
			教員の指導力向上	先進校視察の実施	B	推進中。得た情報を有効に活用できるようまとめ保存する。	
			情報発信	進路だよりの刊行	B	発行したが不十分であった。後半頑張りたい。	
			チャレンジする姿勢づくり	校外模試の実施と受験の促進	B	予定どおり実施しているが、受験者が多少減少している。	
			組織的な進路指導体制の構築	学習委員会の活用	B	模試結果等を提供し検討できるようになってきた。	
				進路情報交換会の開催と活用	B	予定どおりの開催だが、活用は十分とは言えない。	
4 地域との連携による学校づくり	「地域貢献活動」は自分たちの活動を発信するだけでなく、地域の人々との関わりを持ち、地域への感謝を表す場となる必要がある。	地域貢献	地域の美化	コスモスロード、通学路清掃の実施	A	6月末にPTAと生徒が一体となり、コスモスロードの整備を行った。秋にはコスモスが一面によく咲いた。	
		情報発信	教育活動の発信	一層見やすいホームページの作成	B	利用者が必要な情報にたどりつきやすくするために、階層構造に若干の変更を加えたが、大幅な改修には至っていない。	
			芸術教育の発信	総合美術展の開催	B	実施に向けて準備を進めている。(1月予定)	
		近隣の公民館、中学校、施設との連携	文化部活動アピール	パフォーミングアーツの開催(演劇・ダンス・吹奏楽)	B	実施に向けて準備を進めている。(3月予定)	
				ハイホットダンスフェスティバルの開催(ダンス)	B	実施に向けて準備を進めている。(1月予定)	
				成実公民館祭、尚徳地区生き生きフェスタ等への参加	B	実施に向けて準備を進めている。(10・11月予定)	
			中学校との連携	中学校教員対象説明会の開催	B	実施に向けて準備を進めている。(11月予定)	